

平成 23 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人手賀沼トラスト

1 事業の成果

◆ 特定非営利活動法人手賀沼トラスト（以下、NPO 法人手賀沼トラストという）は、平成 23 年 4 月 20 日に設立総会を開催、4 月 25 日付で NPO 法人認証取得申請を行いました。その結果、7 月 5 日付で認証書が交付され、7 月 12 日に NPO 法人設立登記が完了、「手賀沼周辺の優れた景観や環境を守り、人と自然が共生する豊かで潤いのある地域づくり」を目指して発足いたしました。

設立当初の会員数は 143 名（正会員 136 名、賛助会員 2 名、協力会員 4 名、顧問 1 名）でスタートし、前年度末の会員数は 1 名減の 142 名（正会員 135 名、賛助会員 2 名、協力会員 4 名、顧問 1 名）となりました。

任意団体手賀沼トラストは平成 23 年 7 月 25 日付で決算を行い、債権、債務を確定し、清算を結了しました。残余財産（2,379,420 円）は NPO 法人手賀沼トラストに寄付、全ての事業を NPO 法人手賀沼トラストが継承いたしました。

平成 23 年度（第 1 期）は、運営組織を環境保全グループ、農事・農教室グループ、農地保全グループ、交流事業グループと事務局の 5 部門とし、責任と権限を明確にし、且つ縦割りの弊害を排除しつつ、相互に連携してミッションを達成すべく活動を開始いたしました。

◆ 環境保全グループは、根戸城址、斜面樹林地の保全や水辺修景活動を行い、自然環境を守り、次世代に残すことを目的に活動を進めてまいりました。また新規の取組みとして日本蜜蜂の養蜂活動をスタートさせました。

根戸城址、斜面樹林地の保全、ハス田管理では、間伐、下草刈、城址の柵の補修、ハスの枯枝処理、根戸城址周辺の清掃等を実施しました。ハス田は昨年も見事な花を咲かせ、ふれあいラインを散策する人やドライバー、アマチュアカメラマンの人気スポットにもなっております。斜面林のミカンも順調に生育し、そば祭りの頃には収穫し、秋を味わうことが出来ました。

日本蜜蜂の養蜂では、昨年の春分蜂した一群を捕獲し、蜂蜜の採取は行わず根戸城址と杉野農園で飼育中。秋口には天敵スズメバチの攻撃に備え、巣箱の安全対策と捕獲作戦を展開しました。一方、根戸城址、ミカン山、杉野農園に待箱を数箇所設置しました。今年の春の分蜂、捕獲が楽しみです。

竹教室では、根戸城址で伐採した竹を材料にしてランプシェードの制作に挑戦しました。参加者の作品展が楽しみです。

2 月に実施した樹林地の空間放射線量（地上 1 m）が平均で $0.3\mu\text{Sv}$ 前後あり、基準値を少し超えていました。樹林地特有の落葉や林床に付着したセシウムの影響と考えられ、早速落葉を回収する除染作業を実施しました。除染後の測定は定期的実施する予定です。

◆ 農事・農教室グループは有機（生態系）農業の体験、教育、実習、普及活動を行いました。農教室では受講生を 6 チームに編成し、サポートチーム、田畑整備チームを設置するなど、チーム単位で行動することとし、スケジュール管理、栽培管理、作業手順などを計画的、効率的に行えるよう運営体制の見直しを行いました。栽培する作物は約 25 種になりました。冬水田んぼでの収量（籾摺り後）は、もち米 370.6kg、うるち米 123.3kg、黒米 72.7kg、赤米 35.0kg、合計 601.6kg の豊作でした。そばは約 1,000 m^2 の圃場で栽培し、一部土壌水分量の多い箇所では生育不良があり、また、受粉期には台風の来襲もあり、かなりのダメージを受けましたが、玄そばで 60kg、製粉後 43.5kg（収率 72%）のそば粉を収穫し、「そば祭り」で新そばを皆で楽しむことが出来ました。

農教室では受講者 64 名のうち、9 回以上出席した 51 名（約 80%）の方に修了証が、他に皆勤賞が 1 名、精勤賞が 8 名の方に授与されました。特別コースの課題（サトイモ）品評会で、最優秀賞は三連覇を達成し四連覇に挑んだ某氏を制し新顔が登場、優秀賞 1 名、努力賞 2 名の方々が受賞されました。

◆ 農地保全グループは、耕作放棄地や遊休農地の再生・活用を目的として、新たにスタートいたしました。平成 23 年度は、基本となる農業用機械の操作の習得に努めました。農業用機械操作研修では未経験の社員（正会員）が千葉県農業大学校の「体験研修」を履修し、基本的な安全操作の知識を習得しました。農地有効利用先進地視察では、遊休農地での油糧作物を栽培、搾油、販売により農地保全を進める NPO と体験農園を経営する事例を視察し、今後の活動を検討する参考としました。

◆ 交流事業グループは、会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催し、自然環境や農について学び、情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。

2 回目になる「案山子祭り」は外部の団体の参加も得て、「手賀沼流域フォーラム」のイベントの一環として案山子の制作から展示、コンテストを実施しました。約 2 ヶ月間、田んぼに 25 体の案山子が賑やかに立ち並び、周辺の方々や道行く人々の注目を集めました。コンテストの結果は、金賞が 2 点、銀賞が 3 点、銅賞が 1 点でした。東日本大震災の後、沈みがちな雰囲気払拭し、勇気と元気を与えてくれた「なでしこジャパン」に因んだ案山子が 3 体出品され、2 点が金賞と銅賞に輝きました。

恒例の「そば祭り」は通算で 13 回目、そば勉強会の面々がこの日のために研鑽を重ねた腕を振りました。年末の「餅つき大会」も皆が有機無農薬で大切に育てたもち米で搗いた餅を会員のご家族、知人、友人、ご近所の方を含めて約 100 名の方々が、餡、ゴマ、きな粉、大根おろし等に絡めたり、交流事業グループの料理自慢のお母さん達の作った雑煮に舌鼓を打ちました。

トラストサロンは遠藤理事長に講師をお願いし、2 回に分けて、有機（生態系）農業の基礎【I】、【II】を公開講座として実施しました。1 回目が 55 名、2 回目が 48 名の参加があり、一般の参加者が約 6 割を占めました。遠くは野田市、松戸市、船橋市等からの参加者もあり、有機農業に対する関心の高さが窺えました。3 月には、山遊亭金太郎師匠による落語会を六角堂で開催しました。開催日が彼岸の中日（春分の日）でもあり、参加者が少なかったことが反省点。今後に課題を残しました。

◆ 事務局は昨年 7 月、法人格取得後 13 名の体制で、四つの事業部門がそれぞれ責任を持ってミッションを達成するため、また相互に協力・連携しながら活動を展開するためのサポート役として活動してまいりました。法人化に伴って、NPO 法に基づいた組織運営の基本となる定款を定め、その定款に基づいた諸規程の策定を行いました。法人の運営については最高意思決定機関としての総会、執行機関としての理事会、安全管理委員会の三つの会議体を設置し、組織の円滑、かつ柔軟な運営に努めました。特に安全面を重視し、年度の安全管理方針を定め、応急手当に必要な救急箱の整備や我孫子市消防本部の出前講座「普通救命講習」を実施しました。10 月には普段利用している井戸水の水質検査を実施し、保健所が指定する 10 項目について全て基準値をクリアーしておりました。また、2 月には、樹林地、田んぼ、圃場の空間放射線量、土壌放射能汚染度の測定を実施し、何れも問題のないことを確認しました。なお、空間放射線量の測定については、今後とも継続して実施する予定です。

活動資源（人・物・金・情報）を確保するための広報活動については、昨年 8 月から会員相互のコミュニケーション、内外への情報発信を目的として、従来のスタンスを踏襲しつつ、会報「沼のほとり」のリニューアルを行いました。また、同様の目的で 10 月からはホームページもリニューアルオープンし、会員の皆様に必要な情報をタイムリーに提供、対外的には私たちの活動を理解して頂き、ご支援いただけるように情報公開に努めました。3 月には農教室の受講生の募集を行い、受講を希望された方々への説明会を実施しました。説明会には 23 名の方が参加し、21 名の方にご入会いただきました。

2 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者の 範囲及び人数	備考	
環境保全事業	樹林地、ハス田保管理 ・間伐、下草刈 ・果樹（ミカン）施肥 ・根戸城址柵の補修 ・根戸城址土留め補修 ・根戸城址北斜面整地 ・工具・器具・備品整理 ・ハス枯枝処理、施肥 ・日暮会場周辺清掃等	8月3日	根戸城址	2名	会員他 22名		
		9月7日	ミカン山	2名	会員 25名		
		10月5日	ハス田	2名	会員 15名		
		11月2日		2名	会員 15名		
		12月7日		2名	会員 15名		
		1月15日		2名	会員 15名		
		2月1日		2名	会員 15名		
		2月12日		2名	会員 15名		
		3月4日		2名	会員 10名		
		3月18日		2名	会員 15名		
	竹教室 ・根戸城址で伐採した竹 を使ってランプシェード を制作	7月16日	日暮会場	1名	会員 6名		
		8月27日		1名	会員 6名		
		9月24日		1名	会員 6名		
		10月22日		1名	会員 6名		
		11月26日		1名	会員 6名		
		3月28日		1名	会員 6名		
	日本蜜蜂養蜂 ・日本蜜蜂の飼育 ・巣箱の作製 ・スズメバチ捕獲 ・巣箱の防寒対策等	10月8日	根戸城址	1名	会員 10名		
		11月15日	ミカン山	1名	会員 10名		
		12月10日	杉野農園	1名	会員 10名		
		2月26日		1名	会員 10名		
		3月25日		1名	会員 10名		
		3月27日		1名	会員 10名		
	農事・農教室事業	夏野菜収穫、管理作業	7月18日	日暮会場	9名		会員 47名
		夏野菜収穫、管理作業	7月23日	根戸新田	9名		会員 41名
		夏野菜収穫、圃場整備	8月6日	けやきブ	9名		会員 49名
		ゴマのハザ作り	8月13日	ラザ等	6名		会員 6名
		そば播種	8月20日		9名		会員 63名
稲のハザ作り		9月7日		9名	会員 25名		
秋野菜の講義と実習		9月10日		9名	会員 47名		
稲の刈入れ・ハザ掛け		9月17日		9名	会員他 66名		
ハザ補強（台風対策）		9月22日		9名	会員 28名		
稲の脱穀		9月24日		9名	会員 52名		
稲の糲摺り		9月27日		9名	会員 23名		
秋野菜管理、圃場耕運		10月1日		9名	会員 33名		
サツマイモ収穫、管理作業		10月8日		9名	会員 49名		
赤米、黒米の糲摺り		10月11日		9名	会員 26名		
そば刈入れ、ハザ掛け		10月29日		9名	会員 51名		
そば脱穀		11月5日		9名	会員 50名		
そば脱穀、サツマイモ収穫		11月13日		9名	会員 41名		

	秋野菜収穫	11月20日		9名	会員 42名
	農教室修了式	12月10日		9名	会員 50名
	特別コース圃場整備	1月9日		1名	会員 10名
	運営スタッフ会議	1月14日		3名	会員 15名
	運営スタッフ会議	2月11日		3名	会員 15名
	空間放射線量測定	2月12日		3名	会員 7名
	土壌放射能汚染度測定	2月18日		3名	会員 3名
	農教室開講式	3月11日		9名	会員 55名
	ジャガイモ植付け、堆肥作り	3月25日		9名	会員 49名
農地保全事業	農業機械体験研修	10月17日	県農業大学	2名	会員 7名
	農業機械体験研修	10月19日	県農業大学	2名	会員 7名
	NPO バイオライフ視察	1月21日	取手市	2名	会員 2名
	体験農園「さくら農園」視察	3月2日	習志野市	2名	会員 5名
交流事業	案山子祭り（制作）	7月16日	日暮会場	2名	会員他 16名
	案山子祭り（設置）	7月18日	根戸新田	2名	会員 11名
	案山子祭り（展示）	7月～9月	根戸新田	—	—
	案山子祭り（表彰式）	8月20日	日暮会場	2名	会員 16名
	そば祭り（準備）	11月25日	日暮会場	2名	会員 26名
	そば祭り	11月26日	日暮会場	2名	会員他 82名
	餅つき大会（準備）	12月16日	日暮会場	2名	会員 19名
	餅つき大会	12月17日	日暮会場	2名	会員他 92名
	サロン公開講座【Ⅰ】	1月28日	けやき	2名	会員他 55名
	サロン公開講座【Ⅱ】	2月11日	けやき	2名	会員他 48名
	サロン落語会	3月20日	六角堂	2名	会員他 32名
事務局	第1回定例理事会	7月24日	けやき	2名	役員他 8名
	第1回臨時理事会	8月7日	けやき	2名	役員他 7名
	第2回定例理事会	8月28日	けやき	2名	役員他 10名
	第3回定例理事会	9月25日	けやき	2名	役員他 10名
	第4回定例理事会	10月23日	けやき	2名	役員他 8名
	安全管理委員会	11月2日	日暮会場	2名	役員他 6名
	第5回定例理事会	11月27日	けやき	2名	役員他 8名
	第6回定例理事会	12月21日	けやき	2名	役員他 9名
	第7回定例理事会	1月22日	けやき	2名	役員他 10名
	出前講座「普通救命講習」	2月19日	西消防署	2名	会員 24名
	第8回定例理事会	2月26日	けやき	2名	役員他 8名
	農教室受講申込者説明会	3月3日	けやき	10名	参加者 33名
	第9回定例理事会	3月25日	けやき	2名	役員他 9名

[注1] けやき：けやきプラザ（10階＝市民活動ステーション、8階・9階＝我孫子南近隣センター、7階＝千葉県福祉ふれあいプラザ）

[注2] 従業者数：グループリーダー、サブリーダー、スタッフで受益対象者人数の内数

以上